

石油貯蔵施設立地対策等交付金により造成した基金

基金の名称	厚真町石油貯蔵施設立地対策等基金
令和 5 年度基金造成額	71,393,000 円
令和 5 年度末残高	175,586,645 円
基金事業の概要	(仮称) 町道表町バイパス線の道路整備 工事延長 L=470m 工事幅員 W=10.0m (片歩道 2.0m) 舗装 (3 層 12 cm) 下層路盤工 (15 cm) 凍上抑制工 (55 cm)
基金の処分期間	令和 6 年度まで
基金事業の目標	厚真市街地は、主要道道千歳鷗川線を中心に、商業地、住宅地が形成されているため、石油貯蔵施設等の災害時には車両が集中し渋滞が予測される。本路線は主要道道千歳鷗川線を補完し、市街地のバイパス機能を担うことで通過交通の市街地流入の軽減、住民の避難路の分散化と渋滞緩和が期待できることから、石油貯蔵施設等交付金を財源として本路線を整備し当地区居住者の安全確保を図る。